

#4 ペテロの手紙における恵み Bird's eye view 6/20-26

I恵みとは、復活したキリストが命を与える霊と成って、ご自身を無代価で私たちに与え、私たちのすべてとなり、私たちの中で、私たちのために、私たちを通して、すべてのことを行なって、私たちの享受となることです。

II恵みの増し加わりとは、恵みが私たちの日常生活の中で、神と私たちの主イエスを知る全き認識の中で、増し加わることです。神のエコノミーにおける神の恵みは、豊かで、増し加わり、満ちあふれます：1ペテロ1:2 すなわち、父なる神の予知にしたがい、その霊の聖別の中で、イエス・キリストの血に対する従順と、彼の血の注ぎへと選ばれた人たちへ。恵みと平安があなたがたに増し加わりますように。

A恵みは、私たちの苦難、制限、弱さを通して、私たちに増し加えられます。恵みとは、私たちの重荷を負う方としてのキリストです。私たちは重荷を持つほど、恵みとしてのキリストを経験する機会をますます多く持ちます。**B**恵みとしての主に対する享受は、彼を愛する者と共にあります。

C主を恵みとして、彼の神聖な性質と共に享受することは、私たちが彼の恵みの言葉を受け入れ、その言葉の中に住むことによります。この言葉は、彼のすべての尊く際立って偉大な約束を含みます。

III旧約の預言者は、私たちへと来るべき恵みについて予言しました：**A**旧約の預言者の内のキリストの霊は、恵みとして私たちに来るキリストについて、彼らに明らかにしました。このキリストが恵みとして来ることは、彼の肉体と成ること、彼の人の生活と十字架における苦難、また彼の復活、昇天、再来、統治における栄光を通してであり、神の完全な救いを私たちに適用するためです。**B**キリストの霊の構成は経綸上のものであり、新約の時にキリストの死と復活を通して、またそれをもって構成されたのですが、キリストの霊の機能は永遠です。なぜなら、彼は永遠の霊であるからです。**C**キリストの霊が、彼の永遠の機能において、旧約の預言者たちの内にあって、彼らに明らかにしたのは、キリストが新約の信者たちに来て、彼らにとって神の完全な救いのすべてに十分な無限の恵みとなり、彼らを王国時代に主の喜びに入らせ、この喜びは彼らの魂の救いであるということについてです。**D**キリストの霊は、神の完全な救いを恵みとして私たちに適用します。それは二つの手段によってです。その手段とは、旧約の預言者の予言と、新約の使徒たちの宣べ伝えです。1ペテロ1:10 この救いについては、あなたがたへと来るべき恵みについて予言した預言者たちも、探り求め、またつぶさに調べました。11 ...キリストの苦難とそれに続く栄光を、前もって証しし...12...彼らの供給した

これらの事柄が、...あなたがたのためである、ということです。そのことは、天から遣わされた聖霊によって、あなたがたに福音を宣べ伝えた人たちを通して、今やあなたがたに告げ知らされたのです。

IV信者たちが望みを完全に置く恵みは、イエス・キリストの出現の時に、彼らにもたらされます：1ペテロ1:13 ...イエス・キリストの出現の時に、あなたがたにもたらされる恵みの上に望みを完全に置きなさい。

Aイエス・キリストの出現の時に、私たちにもたらされる恵みは、魂の救いを指しており、それは神の完全な救いの完成です：**1**キリストの中で私たちに与えられる恵みは、世が始まる前に、私たちに与えられました。2テモテ1:9 ...キリスト・イエスの中で、もろもろの時代の前に私たちに与えられていたこの恵みは、**2**初めにあった神は、時間の中で肉体と成り、人が受け入れ、所有し、享受する恵みとなりました。**3**手順を経た三一の神は、すべてを含む、命を与える、内住する霊として究極的に完成されて、恵みの霊と成り、私たちの霊と共にいます。

B日ごとに、私たちは開かれた器となって、絶えず恵みを受ける者となるべきであり、この恵みの上に望みをすべて、完全に置くべきです。

V1ペテロ2:19~20の「神と共にある恵み」は、神聖な命の私たちの内側での動機づけ、また私たちの生活におけるその表現を指しており、それは私たちの振る舞いにおいて、人と神の目に甘美で受け入れられるものとなります：1ペテロ2:20 あなたがたが罪を犯して打ちたたかれ、それを耐え忍んだとしても、何の誉れがあるでしょうか？しかし、あなたがたが善を行なって苦しみ、耐え忍ぶとしたら、これは神と共にある恵みです。21 あなたがたが召されたのはこのためです。なぜなら、キリストもあなたがたのために苦しみを受け、あなたがたが彼の足跡に従うようにと、原型を残されたからです。**A**恵みは、私たちの享受のための手順を経た三一の神であり、私たちと神との親密な交わりの中で、また神に対する私たちの感覚の中で、私たちの内側の動機づけとなり、私たちの外側の表現となります。私たちはみな、どのようにして恵みを得るか、すなわち、どのようにして恵みを取り、恵みを所有し、恵みを用い、恵みを適用するかを、学ばなければなりません。**B**手順を経た三一の神は、私たちが受け入れ享受する恵みであり、私たちの聖なる生活と召会の集会で表現されて、人が見ることができるものとなります。**C**私たちが召されたのは、苦難のただ中でキリストを恵みとして享受し表現し、キリストの神・人の生活にしたがって、私たちの原型であるキリストの複製、コピーとなるためです。

VI命の恵みは、信者が強くても弱くても、すべて

の信者の嗣業です:1ペテロ3:7 夫たちよ、同じように、女は自分より弱い器であるので、知識にしたがって妻と共に住み、また命の恵みの共同の相続人として、彼女に誉れを配分しなさい。

A命の恵みとは、私たちの命また命の供給としての神聖な三一における神です—御父は命の源であり、御子は命の経路であり、その霊は命の流れであって、私たちの内側を、御子と御父と共に流れ、私たちの恵みとなります。

B私たちは命の恵みを受け継ぐ相続人であり、命の恵みを入れる器です。

VII神のさまざまな恵みは、神の各種の恵みの豊富を指しており、聖徒たちによって互いに供給されます:1ペテロ4:10 めいめいは賜物を受けているのですから、神のさまざまな恵みの良い家令として、あなたがた自身の間で供給し合いなさい。

A神のさまざまな恵みとは、命の豊富な供給であり、多くの面で私たちの中へと供給される三一の神です。

B私たちは神のさまざまな恵みの良い家令となって、恵みの言葉を神の言として語り、神が供給する恵みの強さと力によって奉仕する必要があります。

VIII神はへりくだる者に恵みを与えますが、高ぶる者に敵対します:1ペテロ5:5 同じように、若者たちよ、年長者たちに服従しなさい。またあなたがたは

みな、互いに謙そんの帯を締めなさい。なぜなら、神は高ぶる者に敵対し、へりくだる者に恵みを与えられるからです。

A召会生活の中で、私たちはみな互いに謙そんの帯を締め、恵みを与える方としての神を享受する必要があります。

Bへりくだりは私たちを、あらゆる種類の破壊から救い、神の恵みをもたらしますが、高ぶりは私たちを最高の愚か者にします。

C私たちは、神の取り扱いにおける力ある御手の下に進んでへりくだり、低くなって、私たちの全生涯とその心配事を神の上に投げかけなければなりません。なぜなら、彼は愛と信実をもって、私たちを顧みてくださるからです。

IX「あらゆる恵みの神」、信者たちをご自身の永遠の栄光の中へ召した方は、彼らの苦難を通して、彼らを成就し、堅固にし、力づけ、土台づけてくださいます(1ペテロ5:10)。この「あらゆる恵み」とは、

「神の真の恵み」(12)であり、信者たちはこの恵みの中に入り、その中に立つべきです。

X神の真の恵みとは、信者たちがその中で成長する恵みであり、彼らはまた、私たちの主また救い主イエス・キリストの知識をもって成長して、今も、また永遠の日に至るまでも、彼に栄光があるようになります。これは使徒ペテロの文書の結びの言葉であり、

彼が書いたことは何であれ、神の恵みに属し、神の恵みの中にあり、神の恵みによってであり、神

の恵みを通してであることを示します。

神戸に在る召会 交わりと報告事項

1. 姉妹特別集会在祝福されました:

メモリアルデー特別集会標語:

①命の木を食べること、すなわち、キリストを私たちの命の供給として享受することは、召会生活の主要な事柄であるべきです。

②創世記2:9の二本の木(命の木と善悪知識の木)は、二つの原則(命の原則と正しいか間違っているかの原則)を表します。

③主の回復は、初めの愛、すなわち最上の愛をもって主イエスを愛することの回復であり、また主イエスを命の木として食べることの回復であり、キリストの有機的なからだを建造するためです。それは、神の永遠のエコノミーの目標としての新エルサレムを建造することです。

④命の木であるキリストの複製として、私たち、キリストにある信者たち、また神の子供たちは、永遠の命を持っていて、永遠の命を経験することができるだけでなく、この命をキリストのからだの他の肢体に供給することができます。

2. 武富りゅういち兄弟のために:

りゅういち兄弟は、7/1~中国語の勉強、台湾の召会生活を学ぶために台北に留学します。また、来年4月から東京全時間訓練に参加します。りゅういち兄弟の献身が祝福されるように兄弟姉妹祈ってください。

3. リジョイスガーデンサマーブレンディング:

8/11(木), 12(金), 13(土)

4. リー全集通読:

毎週月~金9:30-10:00, 21:30-22:00

毎週土 7:30-8:00

5. 聖書通読: 今週は通読表の26週目です。

CP1 文化的、宗教的観念を一層一層対処して、 増し加わる恵みを経験する

III 恵みの増し加わりとは、恵みが私たちの日常生活の中で、神と私たちの主イエスを知る全き認識の中で、増し加わることです。神のエコノミーにおける神の恵みは、豊富で、増し加わり、満ちあふれます。A 恵みは、私たちの苦難、制限、弱さを通して、私たちに増し加えられます。恵みとは、私たちの重荷を負う方としてのキリストです。私たちは重荷を持てば持つほど、恵みとしてのキリストを経験する機会をますます多く持ちます。

1ペテロ1:2 ...父なる神の予知にしたがい、その霊の聖別の中で、イエス・キリストの血に対する従順と、彼の血の注ぎへと選ばれた人たちへ。恵みと平安があなたがたに増し加わりますように。

神が制限されないように、恵みは制限されません。私たちは再生された時、神を私たちの中へと受けましたが、それはわずかな量の神にすぎませんでした。徐々に、年を経るごとに私たちの内側で神が増し加わるとき、私たちは神の分量によって重みがあるようになります。これは、恵みとしての神が、私たちの中で増し加わっているからです。

基礎としての増し加わる恵みという思想と共に、ペテロはさらに進んで、1ペテロ 4:10 でさまざまな恵みについて語ります。「めいめいは賜物を受けているのですから、神のさまざまな恵みの良い家令として、あなたがた自身の間で供給し合いなさい」。私たちはみな、ペテロがさまざまな恵みと呼ぶもの、すなわち異なる面における、また異なる部類の恵みの良い家令であるべきです。

1ペテロ 5:10 しかし、あらゆる恵みの神、キリスト・イエスにあってあなたがたをご自身の永遠の栄光の中へ召してくださった方は、あなたがたがしばらく苦しみを受けた後、彼自らあなたがたを成就し、堅固にし、力づけ、土台づけてくださいます。

ペテロは 5:10 で再び恵みを述べます。そこで彼は、あらゆる恵みの神について語ります。...命の恵みは私たちの中で増し加わりつつあります。その後それはさまざまな恵みとなり、そして最終的に、あらゆる恵みとなります。その結果、私たちは一つの方向からの恵みだけでなく、多くの方向からの恵み、例えば、天からと地からの、私たちの夫あるいは妻からの、私たちの子供からの恵みを持ちます。私たちは子供を多く持てば持つほど、ますます多くの面の恵みを経験するでしょう。もし四人の子供を持つなら、あなたは四つの面における恵みを享受するでしょう。しかしあなたがさらに多くの子供を持つなら、さらに多くの面の恵みを享受するでしょう。

適用: 青少年、大学生、新人編

証 私は大学に入学して直ぐ救われました。救われた後、最初に合気道部でキリストを集中力、勇気、運動の能力の実際として経験しました。キリストを主観的に味わったので、福音を伝える負担が出てきて、福音を積極的に伝えました。キリストを、福音を伝える祈り、命、力として経験しました。しかし、私は勉強が苦手であったので、勉強においてキリストを経験するのは難しいという自家製の宗教観念に縛られていました。しかし大学院に進学する方針を決めて、強いられて勉強するようになり、初めてキリストを勉強における理解力、集中力、忍耐力、持続力として経験することができました。この時、「もしかすると自分の観念がキリストの増し加わる恵みを制限しているのではないか?」と少し感じましたが、鈍感な私はこの重要な問題についてあまり注意を払いませんでした。しかし、主は私をそのままにしておかれませんでした。大学院を卒業し、台湾全時間訓練に参加した時、毎日、自分の宗教観念が暴露され照らされました。私は次のように度々祈りました、「主イエスよ、私は自分ではキリストを経験しているつもりになっていましたが、ほとんどの場合、それは私の文化的な観念と宗教観念に従った経験であり、キリストの経験ではありませんでした。リー兄弟の本に、『キリスト対宗教』という本があります。宗教はキリストの親戚ではなく、キリストに敵対するサタンの子です。私は自分の宗教観念から救われなければ、キリストを増し加わる恵みとして享受することはできません。主よ、私の宗教観念を掘り出してください」。訓練でのこの暴露と告白の祈りにより、私に対する神の恵みは大いに増し加わったと証できます。その時から、主にいつも開いていることを願い、訓練し始めました。

このように訓練し始めると、私の中に何層も宗教観念があることに気付きました。一層の宗教観念を取り除いても、しばらくすると別の層が暴露されます。このようなことを繰り返しているため、私は主が私を憐れんでくださらないとどうしようもないと思い、次のように祈りました、「主よ、あなたの憐みに頼り、私がいつもあなたに開き続けるように助けてください」。この祈りは2022年の今も続いています。

祈り おお主イエスよ、私の文化的な観念と宗教観念は何層もの覆いであり、増し加わる恵みを経験することを非常に妨げています。主よ、私を憐れんでください。これらの観念がキリストの経験と置き換わっていました。神が制限されないように、恵みも制限されないことを認識し、経験させてください。あなたの憐みに頼り、いつもあなたに開き続ける器になることができますように。

CP2 苦難のただ中でキリストを恵みとして享受し表現し、原型であるキリストの複製、コピーとなる

VA 恵みは、私たちの享受のための手順を経た三一の神であり、私たちと神との親密な交わりの中で、また神に対する私たちの感覚の中で、私たちの内側の動機づけとなり、私たちの外側の表現となります。私たちはみな、どのようにして恵みを得るか、すなわち、どのようにして恵みを取り、恵みを所有し、恵みを用い、恵みを適用するかを、学ばなければなりません。C 私たちが召されたのは、苦難のただ中でキリストを恵みとして享受し表現し、キリストの神・人の生活にしたがって、私たちの原型であるキリストの複製、コピーとなるためです。1ペテロ2:19 だれかが不当に苦しめられても、神のことを覚えて悲しみを耐え忍ぶなら、これは恵みです。20 あなたがたが罪を犯して打ちたたかれ、それを耐え忍んだとしても、何の誉れがあるでしょうか？しかし、あなたがたが善を行なって苦しみ、耐え忍ぶとしたら、これは神と共にある恵みです。21 あなたがたが召されたのはこのためです。なぜなら、キリストもあなたがたのために苦しみを受け、あなたがたが彼の足跡に従うようにと、原型を残されたからです。

1ペテロ2:19と20節で...ペテロは、神のことを覚えて、私たちが進んで悲しみを耐え忍び、不当に苦しめられるなら、すなわち、不正な取り扱いを受けるなら、これは恵みであると言っています。19節で「恵み」と訳されたギリシャ語の言葉は「カリス(Charis)」であり、ここでは神聖な命の私たちの内側での動機づけ、また私たちの生活におけるその表現を指しており、それは私たちの振る舞いにおいて、人と神の目に甘美で受け入れられるものとなります。2:12 また異邦人の間では、卓越した生活態度でありなさい。それは、彼らがあなたがたを悪人呼ばわりしていても、あなたがたの良い行ないを自分の目でよく見て、神の訪れの日、神に栄光を帰すようになるためです。

恵みと原型は密接な関係があります。だれかが、信者の内側から恵みとしての三一の神の表現を観察し、またこれは恵みであることを承認するとき、この人は原型であるキリストのコピーとなったというしるしがあります。不当な苦しみのただ中で、三一の神を恵みとして表現することは、キリストの複製となることです。ですから、「これは恵みです」と言う代わりに、「これはキリストの複製です」と言うことが可能です。手順を経た三一の神を恵みとして表現する生活態度は、単に恵みだけではありません。それはキリストの複製です。

適用: ビジネスパーソン、大学院生編

証1 私はある夏の暑い日に、ある姉妹と二人で福

音に出て、二時間歩き回りましたが、人々の反応はあまり良くなく、二人共疲れてしまいました。この時、私の内側に、まずパートナーの姉妹を顧みる必要があるという感覚があり、その姉妹と一緒に祈りましょうと言いました。出ていく前に享受した御言葉を再度祈り読みしました。すると不思議と疲れは喜びに変わりました。そして、以前よく道で会った福音友人に出会いました。その日、彼女はたまたま仕事が早く終わって帰るところでした。私たちは近くの集会所に誘い、連れて行きました。集会所に入った時、兄弟姉妹は詩歌376番を歌っていました。私はその詩歌の3節、「主のために労苦するは、われでなく、主の恵み」の歌詞を歌って感動しました。そうです。主のために労苦するのは、主の恵みです。主に感謝し、主の愛に満たされ、福音を宣べ伝え、彼女はその場でバプテスマされ、救われました。

証2 私は以前勤めていた会社で、とても理不尽な目にあつたことが何回かあります。例えば、ある問題が発生したときに、上司はその責任を私だけになすりつけるといった具合です。もちろん本当に私が悪ければ私はその責任を担うべきですが、中には明らかに私の責任範囲外のことも押し付けられたことがあります。そのような状況に陥った時の反応として、2パターンあると思います。1つ目は怒りの感情をぶちまけ上司に対して反撃する、これは明らかに肉に従って古い人の中を歩いている状況です。2つ目は、霊に戻り、状況を俯瞰し、一時の怒りの感情によって揺るがされることなく、課題の解決に注力することです。この場合、重要なのは課題を解決することです。私は神と一つ霊になることにより、霊に戻り状況を俯瞰し、ここで感情をあらわにしても何の利益も生み出さないことを再認識し、課題解決にのみ注力しました。そうすることで課題は解決され、そして上司から以前よりも信頼されるようになりました。肉に従って歩むことは神が望んでいることではありませんし、私自身も疲弊します。他方で思いを霊に付けて考え、行動する時には、神も喜び、私自身にも平安があり、結果として仕事で成果を上げることができました。

祈り おお主イエスよ、私が召されたのは、不当な苦しみのただ中でも、三一の神を恵みとして享受し、動機づけられて、キリストを表現し、キリストの複製となるためです。手順を経た三一の神を恵みとして表現する生活態度は、単に恵みだけではなく、キリストの複製となることです。どのようにして恵みを得るか、すなわち、どのようにして恵みを取り、恵みを所有し、恵みを用い、恵みを適用するかを、学ばせてください。